

令和 5 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・社会人特別選抜)

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 7 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。
- 3 設問 I、設問 II の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

設問 I 以下の文章 1, 文章 2 を読み、問 1, 2, 3 に答えなさい。ただし、答案は問 1, 2, 3 あわせて解答用紙 1 枚程度とし、1 枚を超えてはいけない。

(問 1) 下線部(1)で述べられるように、現代の民主政国家では改革者と消費者の間で異なる力学が働く中で、公教育や高等教育がその本質的な意義を發揮するためにはどのような方策が必要と考えるか。あなたの考える公教育や高等教育の意義を述べた上で、その方策についての考えを述べなさい。

(問 2) 筆者が下線部(2)のように考える論理的構造を、文章に示されていることに即して説明しなさい。

(問 3) 文章 1, 文章 2 をそれぞれ引用しつつ、「大学教育は仕事に役に立たない」という社会通念をどのように解釈するか自らの考えを述べなさい。

(文章 1)

<ここに下記文献が入ります>

「デイヴィット・ラバリー（著），倉石一郎，小林美文（訳）．教育依存社会アメリカ．岩波書店．2018．」
pp. 213-214 より抜粋。一部改変。

出典：「ディヴィット・ラバリー（著），倉石一郎，小林美文（訳）. 教育依存社会アメリカ. 岩波書店.
2018.」pp. 213-214 より抜粋. 一部改変.

（文章 2）

<ここに下記文献が入ります>

「中村高康，平沢和司，荒牧草平，中澤歩（編）. 教育と社会階層 ESSM 全国調査からみた学歴・学校・
格差. 東京大学出版会. 2018.」pp. 169-172 より抜粋. 一部改変.

出典：「中村高康，平沢和司，荒牧草平，中澤歩（編）．教育と社会階層 ESSM 全国調査からみた学歴・学校・格差．東京大学出版会，2018．」pp.169-172より抜粋．一部改変．

設問 II

以下の資料（図1～図4）は 日本の政府予算（国の予算、文部科学省予算）を図示したものである。次の（1）（2）に答えなさい。なお、解答は解答紙の2枚目に記し、合わせて1枚の分量程度にすること、ただし1枚を超えてはならない。

(1) 図1及び図3から、国の予算における文部科学省予算の位置づけの変化を述べた上で、その変化の要因と思われる事柄を記しなさい。

(2) 図2及び図4から、文部科学省予算の総額や内訳の変化を述べた上で、その変化の要因と思われる事柄を記しなさい。

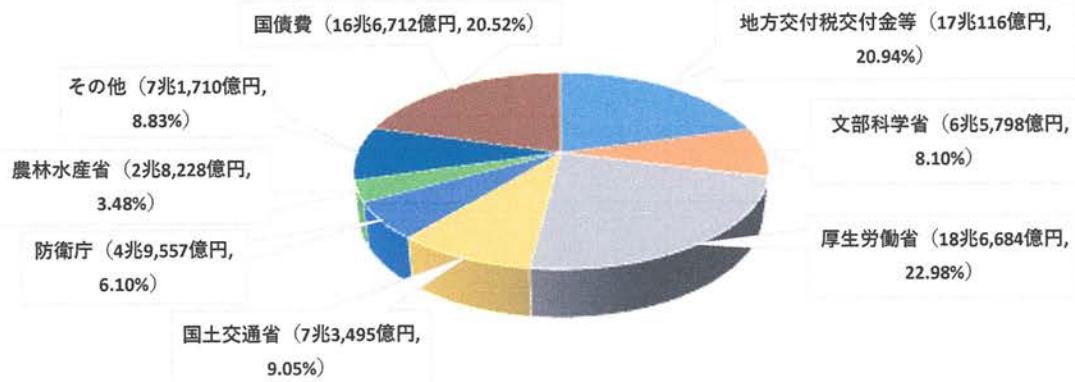


図1 国の予算（平成14年度）

出典)『文部科学白書』(平成14年) より一部改変。

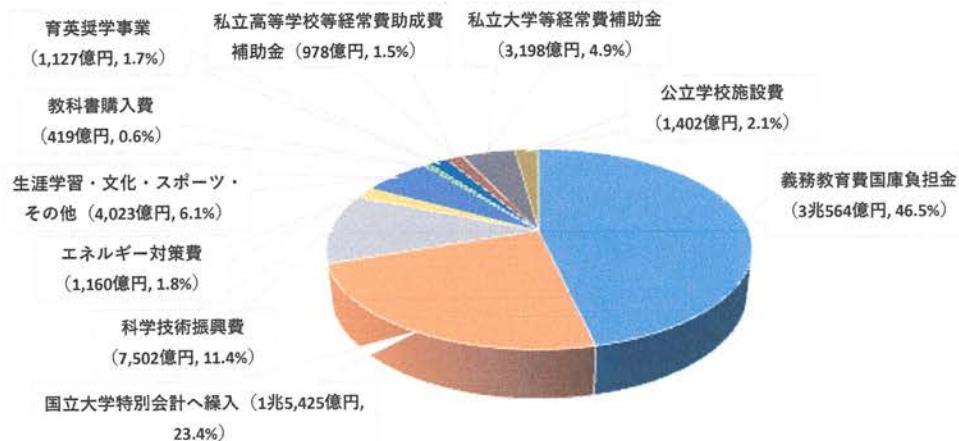
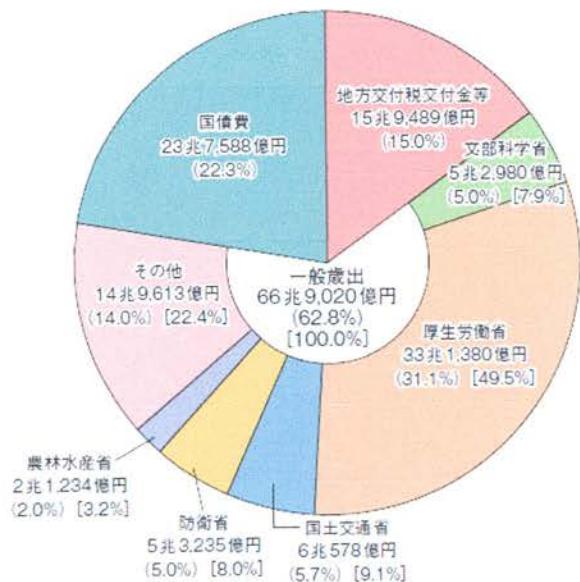


図2 文部科学省の予算（平成14年度）

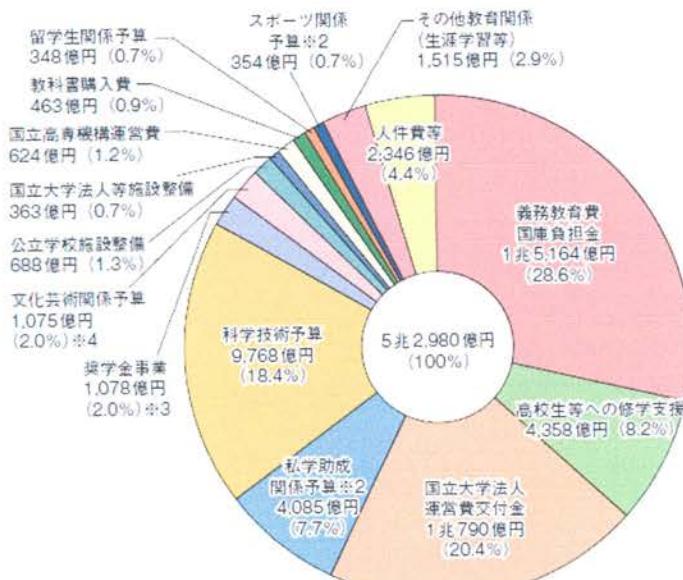
出典)『文部科学白書』(平成14年) より一部改変



(注) 1. () は、国の予算全体に対する割合。
2. [] は、一般歳出に対する割合。

図3 国の予算（令和3年度）

出典)『文部科学白書』(令和3年)



(注) 1. 子ども・子育て支援新制度への移行及びデジタル庁への移管については別途内閣府等に計上。
2. 私学助成関係予算、スポーツ関係予算については重複計上有る。
3. 高等教育の修学支援新制度に係る経費4,804億円を別途内閣府予算として計上。
4. 國際観光旅客税財源を充当する事業70億円を別途観光庁予算として計上。

図4 国の予算（令和3年度）

出典)『文部科学白書』(令和3年)

令和5年度 (第2期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚（表紙を除く）、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと（設問I～設問IIIの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問IVの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること）。

.....臨床心理学コース.....

【設問I】 児童・思春期に特有な精神疾患とそれに対する心理的援助について述べなさい。 (20点)

【設問II】 産業領域における心理職の役割について述べなさい。 (20点)

【設問III】 相談機関で心理学的支援を開始するにあたって、インフォームド・コンセントを得るべき事項としてどのようなことが挙げられるか。「インフォームド・コンセント」という用語の意味を説明した上で、あなたの知るところを述べなさい。 (20点)

【設問IV】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。 (各5点)

(1) 児童虐待の防止等に関する法律 (児童虐待防止法)

(2) 産後うつ病

(3) 中年期危機

(4) 社会的促進

(5) 喪失体験

(6) ペアレント・トレーニング

(7) 神経心理学検査

(8) 評定者間信頼性

(以下余白)